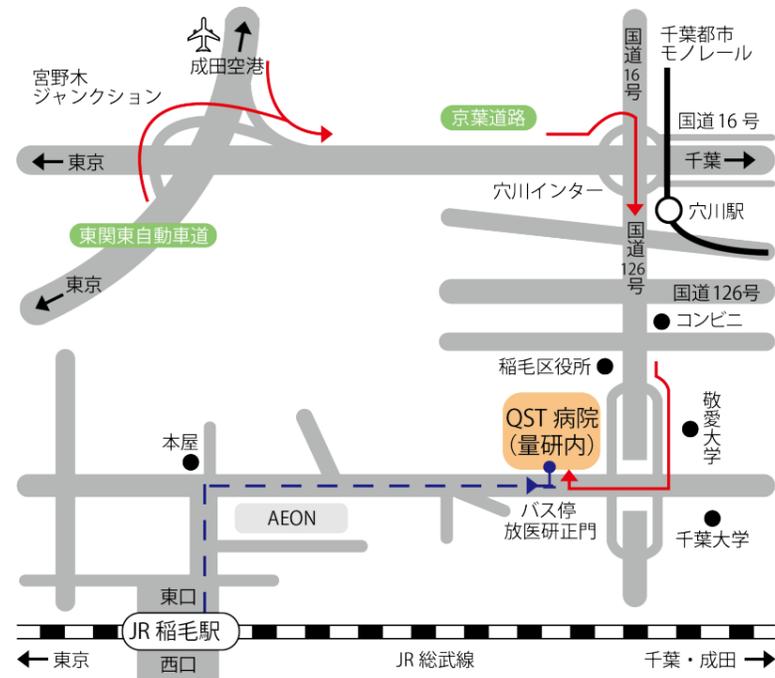


アクセス



公共交通機関ご利用の場合

◎JR総武線 稲毛駅（総武線快速・各駅 停車）

*JR稲毛駅東口より徒歩10分

*JR稲毛駅東口バスターミナル（2番乗り場）よりバス乗車 → 放医研正門下車
（山王町行、千葉センター行、ザ・クイーンズガーデン稲毛行）

お車でのお越しの場合（駐車場有り ※正門からお入りください）

*京葉道路：穴川インターより10分（注意：稲毛区役所付近で側道へ）

*東関東自動車道：宮野木ジャンクション → 京葉道路・穴川インターへ

電話相談

重粒子線治療に関する相談をお電話にて受け付けています。

Tel:043-284-8852

月曜日～金曜日（祝日、休日年末年始は除く）

午前 9:00～11:30 午後 12:30～15:00

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院（旧放射線医学総合研究所病院）

Tel:043-206-3306（代表）

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

当院ホームページ【<https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/>】

当院ホームページは
こちらから!!



重粒子線治療をお受けになりたい方へ ～前立腺がん～

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院



重粒子線治療とは

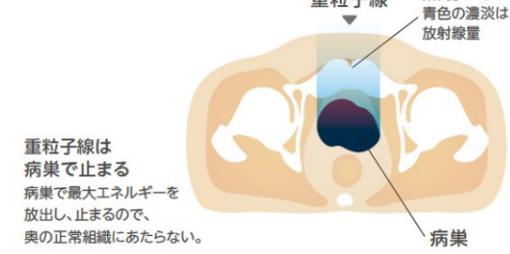
- ▷ 一般の放射線治療と比べ、**がん病巣に集中して照射**できます。
- ▷ **一般の放射線が効きにくいがんにも効果**があります。
- ▷ **通院**での治療もできます。

重粒子線とX線の線量分布比較

X線の場合



重粒子線の場合



適応となるかた

(2022年4月現在)

- ▷ **転移のない前立腺がん**と診断された方
- ▷ ホルモン療法以外の前立腺がんへの治療（手術、他の放射線療法など）を受けていない方

よくいただくご質問と回答

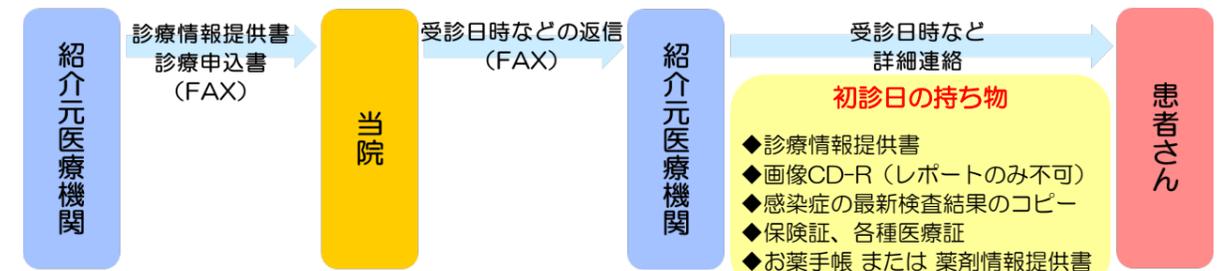
- ▷ **治療期間**はどれほどですか。
週に4回の治療を全12回行いますので、**約3週間**必要です。
また、治療前に照射の位置を確認するために必要な金属マーカーを挿入しますので、初診から治療を始めるまでに**2か月程度の準備期間**が必要です。
- ▷ **X線や陽子線による治療**との違いは何ですか。
重粒子線治療は、X線よりも線量集中性が高いため、直腸や膀胱への影響を少なくできます。
また、X線や陽子線の効果が発揮しにくい腫瘍にも有効です。
- ▷ 治療は通院でも可能でしょうか。
通院での治療が可能です。ほとんどの方が通院で治療しています。
ただし、**治療準備のために2～3日の入院**は必要となります。
- ▷ ホルモン治療は必要ですか。
前立腺がんの状態ホルモン療法を併用すべきか、併用する場合には期間をどうするかを、事前に検討します。詳しくは、診察時にご説明いたします。



受診について

当院での治療目的の受診は原則として医療機関からの紹介予約制となっています。

重粒子線治療を希望される方は、まずかかりつけの医療機関の医師にご相談ください。



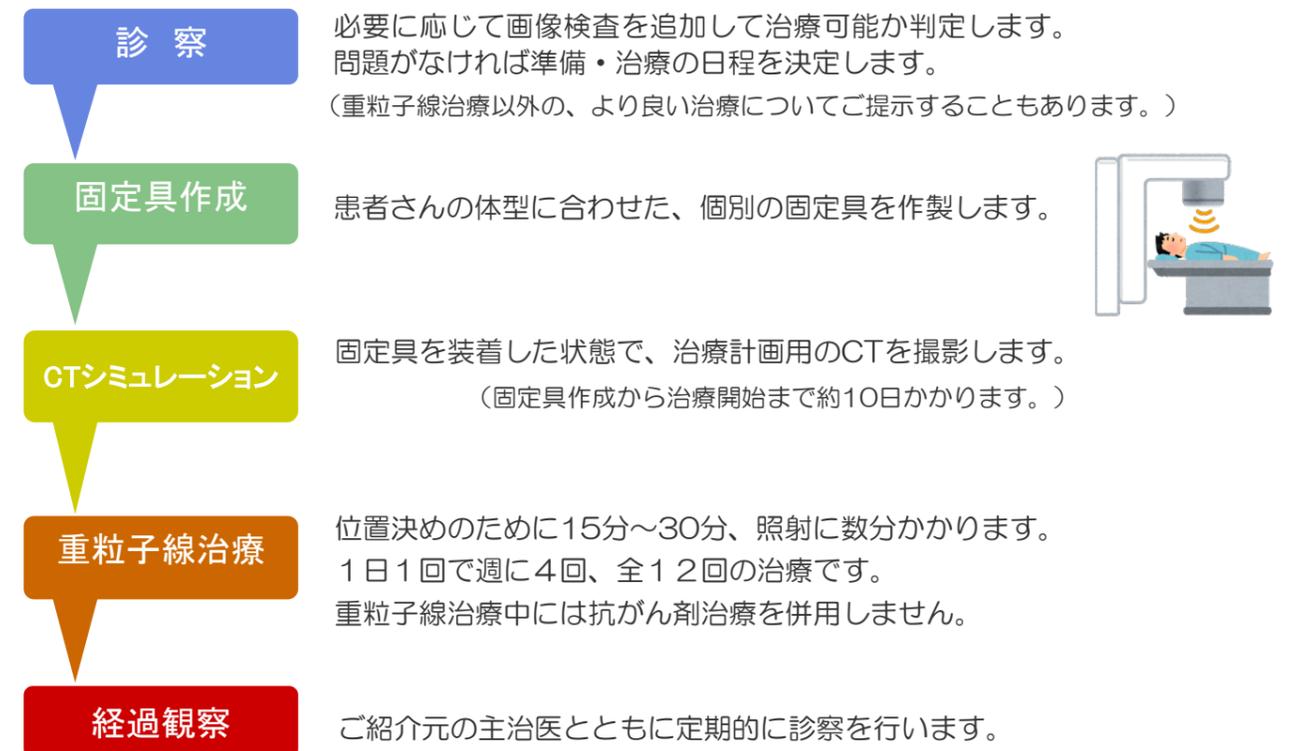
FAX送付先：043-206-3439（地域医療連携室）

電話相談：043-284-8852（詳細は裏面を参照）

※そのほか特定の疾患や病歴により必要となるものは個別にご案内します。

治療の流れについて

重粒子線治療では、安全で精度の高い照射を行うために、治療前に患者さんに合った治療方針を事前にしっかり検討したうえで、固定具作製や治療計画用のCT撮影などを行います。



治療費について

前立腺がんに対する重粒子線治療にかかわる治療関連費用は160万円と定められております。これに検査等のための診療費や入院費などを含めた金額から、ご加入の健康保険の区分によって1割～3割の額がご負担額となります。また、高額療養費制度*もご利用いただけます。

(※詳しくはお住まいの自治体等にお問い合わせください。)